第2回 能登半島絶景海道の創造的復興に向けた検討会

議事要旨

- 日時：令和7年5月16日（金） 14：30～16：15
場所：七尾市勤労者総合福祉センター 多目的ホール
出席者：（会場）
有識者委員：藤生委員長、山中委員、片桐委員、刀祢委員、
白井委員、竹内委員
行政委員：石川県 道路建設課、石川県 道路整備課、輪島市、
北陸地方整備局
事務局：石川県 道路建設課、石川県 道路整備課、
能登復興事務所、金沢河川国道事務所
（WEB）
行政委員：石川県 観光戦略課、珠洲市、穴水町、能登町
志賀町
事務局：奥能登土木総合事務所、中能登土木総合事務所

議事概要（各委員からの主な意見）

<周遊観光の促進に関する意見>

- ・日本人の旅行は1泊2食が標準だが、訪日外国人旅行者の思考に合わせ中長期的な滞在型観光などの検討が必要である。
- ・訪日外国人旅行者に能登地域まで来てもらうための情報発信や仕掛けづくりが必要である。
- ・遠距離地から標識・案内看板を活用して、能登地域に人を誘導することが効果的ではないか。
- ・二次交通の選択肢（徒歩や観光ガイドタクシー、船）を増やす必要がある。
- ・バイクツーリズムの視点を取り入れる必要がある。
- ・ホームページだけでなく、観光案内アプリやSNSを通じた情報発信、利用者の情報収集が重要である。

- ・インバウンドに特化した、言葉に依らずとも楽しめるアプリを考えてはどうか。
- ・場所によって自転車や徒歩、車など、適した交通手段が異なると思われるので、能登半島絶景海道のルートを細かく分けること（集落単位等）を検討してはどうか。
- ・ジオパークとドローンの連携など、新しい取り組みを検討することで、新たな観光資源になるのではないか。
- ・エリアの価値向上に向けて、能登半島国定公園の国立公園への格上げ、特別保護区の指定に向けた取り組みを推進してはどうか。
- ・観光インフラの整備にあたり、住民の生活環境との調和が重要である。

<道の駅の集客強化に関する意見>

- ・「道の駅」リレーイベントの開催箇所を増やすなど、ルート上での仕掛けを増やすことが必要である。
- ・「道の駅」を拠点として、歩きや自転車で周辺の観光施設を味わいつくす取り組みが重要である。

<サイクルツーリズムの活性化に関する意見>

- ・ファミリー層に向けた食や宿泊の要素を取り入れることや、ファミリー層向けのイベントを検討してはどうか。その他ファミリー層の誘客には、電動アシスト自転車が有効である。
- ・海外では速く走ることが目的ではなく、家族でグルメを楽しみながらサイクリングする楽しみが求められており、外国人向けの案内人がいると安心してもらえる。
- ・サイクリスト向けの施策について、海外での取り組み（例：車輪止めはフック型ではなく、鍵がかけられる逆U字型サイクルラック等）を参考にする必要はある。

<魅力ある風景街道の創出に関する意見>

- ・日本風景街道と「道の駅」の連携について、「観光」「文化」「情報」「食」「特産品」「防災」「安全」「教育」の8分野を踏まえた検討が必要である。

- 個々の点の取り組みだけでなく、能登の魅力を地域の線・面としてストーリー性等を交えた情報発信をする必要がある。
- 観光ガイド（震災・復興の語り部）の育成等、活動に係る人・団体を発掘することが重要である。
- 能登地域在住の写真家と連携したイベント・グッズの企画を検討してはどうか。
- 音楽を使った情報発信も魅力を伝える方法として有効である。

以 上